

千秀だより

自分で考え
表現し
挑戦し続ける子

横浜市立千秀小学校

令和6年(2024年)6月28日



7月号

URL www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

～千に秀でる子の育成～ クラス名 R6

イチゴー会

キラキラレインボー 光のきずな
えがおのパズル 世界地図 ビビンバ
大地 MemoryRoad

さらなる仲間づくりと国際教室の始動

校長 平島 幸江

いよいよ、7月に入ります。6月最終週から水泳指導が始まり、事前に業者の方にきれいに修繕・清掃していただいたプールから、児童の元気な声が響いてきます。地域の方と環境委員会の児童と一緒に植えた正門のマリーゴールドは、明るい赤やオレンジ・イエローで、暑さの中を登校してきた子どもたちを「ファイティン!」と励ましてくれているようです。千秀小学校も、いたるところで夏色です。

6月14日には、金井公園の全校遠足を予定通り実施いたしました。児童のスマイル活動委員会を中心にしながら、最高学年の6年生が各班の先頭にたって運営を行いました。特に6年生は、日々の学習活動であわただしい中でしたが、最高学年としてよい姿をいたるところで見せていました。例えば、バス通りを歩いているときには、1年生が車道側を歩かないように気遣う姿、公園でのオリエンテーリングでは、要所で必ず人数を数えてメンバーが全員いるか確認する姿、泣き出してしまう下学年の子にゆったりと落ち着くような声掛けをする姿、自由時間には元気よく自分から体を動かして遊びをリードする姿。大変蒸し暑い日でしたが、終始、和やかな雰囲気での活動が進んでいました。低学年の児童で迷子になる子が一人もいなかったこともとてもよかったと教職員で振り返り、評価を行いました。

そして、「仲間づくり」の新しい取り組みとして、7月は登下校ルートと同じにする児童どうしの集会活動を予定しています。(この活動、まだ活動名がついていません。児童と一緒に考えて決めたいと思っています)4月からスタートした「登校時間の見直し」(8:10～8:20の間に正門を通過する)は、その後いかがでしょうか。登校してくる児童の様子を見ていると定着してきたようには感じます。地域の登校安全見守りの方も、チーム千秀からの呼びかけに応じて、新しくご協力いただいている方が増えています。本当にありがたく、安心して登校できるあたたかな環境がある千秀小は幸せだなと思います。

今後は、同じ登下校ルートの児童どうしが「顔と名前がわかる」関係づくり・仲間づくりを児童の集会活動を通して築いていきます。ここでも6年生がリーダーシップを発揮できるよう取り組みます。

それから、折に触れてお知らせしてきました国際教室をいよいよ始動させます。

本市では、昨年度、外国籍・外国につながる児童は約12000人、そのうち日本語指導等の学習支援が必要な児童は約3700名となっており、この数字はコロナ禍以前の2018年の人数に比べて1500人近い増加となっています。本校でも、該当児童が一定数となったため、1名、担当教員が配置となりました。3階の教室を国際教室とし、ここを拠点として該当児童の指導にあたっていきます。だれもが安心して学習できる環境整備の一つとして取り組んでいきます。

7月は19日が授業最終日です。ここから夏休みが始まります。児童は心待ちにしていることでしょう。教職員も、研修や休暇をとるため、休業中は閉庁期間を設けております。ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。お子様にとって、主体性や創造性が育まれる、有意義な夏休みになりますように願っております。